

化学生命科学科

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程・教育方法】

1年次

数学・物理・情報・化学・生物学・地学の様々な分野を含む系列「理学基礎」から、科目を選択して履修する。科目名に「概論」が付いているものは、基本的に2年次以降の専門科目への導入として重要なものである。特に、「化学」「生物学」の名称が付されている科目の履修は強く推奨され、2年次以降の化学と生物学の基礎的知識と実験技術を身につけることができる。

2年次および3年次

化学と生物学に関する多くの選択科目（系列「展開」・系列「総合」）の中から、自ら設定した目標や志向に応じて科目を選択し、2年間かけて段階的に科学的な専門知識と論理的な思考力を醸成する。また、系列「実験」においては、定められた単位数の実験を選択履修する必要がある。この実践的な実験科目の履修を通じて、他者と協力して実験し議論する力を養い、分析力や考察力、レポート作成力等を深めていくことができる。さらに、系列「特別研究」に含まれる「化学生命科学英語」は少人数の演習授業であり、英語の基礎的文献を読み発表する力を育む。

4年次

化学か生物学、または複合領域のいずれかを専門とする研究室に所属して、独自の新規テーマの研究に取り組む。「卒業研究演習」では、専門性の高い英語の文献を読む力を養い、専門分野の知識を深め、科学的な議論を行い、プレゼンテーション能力を高める。「卒業研究」では、原理や目的を理解して適切な実験を行う技術と能力を培うとともに、データ分析力、問題解決能力、論理的な考察力などの総合的な応用力を身につける。1年間の集大成として卒業論文を執筆し、口頭で研究発表を行う。

なお、中高（理科）の教諭一種免許状が取得できる教職課程、および博物館学芸員課程のカリキュラムも提供する。

【学修成果達成のための科目】

DP1 系列「理学基礎」

DP2 系列「展開」、系列「総合」

DP3 「化学生命科学英語」、「卒業研究演習」

DP4 系列「展開」と系列「総合」の一部の科目、系列「実験」、「卒業研究演習」、
「卒業研究」

DP5 系列「実験」、「卒業研究」

DP6 系列「実験」、「卒業研究」

DP7 ほぼ全ての授業が該当する